2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	知的財産管理技能検定対策講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	302教室
担 当 教 員	安達　隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			

《授業科目における学習内容》

製品企画・研究開発・製品開発・技術開発の業務においてその成果である知的財産の管理は必須である。本講座ではその知的財産に関する基礎知識を身につけ知的財産管理技能検定3級の合格を目指す。

《成績評価の方法と基準》

試験70%
出席点20%
平常点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

知的財産管理技能検定公式テキスト

《授業外における学習方法》

法的な問題が多くキーワードの暗記が必須である。教科書ノート等を用いて復習的に学ぶ。

《履修に当たっての留意点》

技術的要素は少ないが、社会人にとって有用な資格である。そのことを意識して資格取得を目指して欲しい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	特許法の目的と保護対象について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP2～P9を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	特許法の目的と発明 保護対象と具体的事例		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	特許要件について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP10～P17を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	特許要件について、新規性、進歩性、先願主義について 産業上の理解		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	特許出願について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP18～P24を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	願書、明細書、特許請求の範囲、図面、要約書について 職務発明について		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	特許権の出願の手続き、管理と活用について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP25～P39を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	出願公開、出願審査請求、実体審査、拒絶理由通知、査定について 存続期間、ライセンス		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	特許権の侵害と救済について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP40～P46を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	特許権の効力、警告書、差し止め請求、損害賠償請求、不当利得返還請求、信用回復措置請求について		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実用新案法について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP47～P521を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	小発明について、権利の存続期間について		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	意匠法の保護対象と登録要件について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP54～P63を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	意匠とは、保護対象の範囲		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	意匠登録を受けるための手続きについて説明できる。意匠権の管理と活用、侵害と救済について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP64～P83を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	出願書類、審査の流れ、特殊な意匠登録、存続期間、ライセンス、意匠権の効力、意匠権侵害の対応		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	商標法の保護対象と登録要件、手続きについて説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP86～1093を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	商標とは、商標の事例、登録の要件、出願書類、一商標一出願の要件、審査の流れ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	商標権の管理と活用、侵害と救済について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP110～P124を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	存続期間とライセンス、商標権の管理、侵害時の対応		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	著作権法の目的と著作物、著作者・書作者人格権について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP152～P170を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	著作権の目的と著作物の事例、著作者の考え方、著作人格権の考え方		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	著作権について、著作権の制限、著作隣接権について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP171～P194を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	著作権の詳細について 著作隣接権について		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	著作権の侵害と救済について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP195～P203を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	登録制度、著作権の侵害に対する救済措置		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	条約、その他の知的財産件について説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	テキストP126～P149、P206～P238を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	パリ条約、PCT、TRIPS、ハーグ協定など 不正競争防止法、独占禁止法、種苗法など		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	知的財産の基礎的な知識について十分理解し説明できる	知的財産管理技能検定公式テキスト	全体の総復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	知的財産権全般についてのまとめ		